

笑顔同封

町田市立堺中学校
校長 大石 龍
電話：042(771)2348
FAX：042(772)4218

2018年 6月13日 第3号

「AI 読み」をしていますか？

「東ロボくん」ということばを聞いたことがありますか？「ロボットは東大に入れるか」という人工頭脳プロジェクトの略称です。国立情報学研究所の新井紀子先生という数学者が、このプロジェクトでAI（人工知能）を育ててきました。この春、彼女の講演を聴いてきました。

結論を言えば、国内の様々な大学の合格圏には入ったものの、東大には合格できなかったそうです。原因は明確で、文章の意味を正確に理解できないためです。人工知能にも得意不得意があり、短い文は理解できても、長く複雑な文の理解は難しいのだそうです。

『仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、東南アジアにおもに広がっている』

次の問題に答えてみて下さい。

【問題1】オセアニアに広がっている宗教は何でしょう？

簡単ですね。問題文に答えが書いてあります。ところが、東ロボくんはこれに答えることができませんでした。文中のそれぞれの単語がどのような関係にあるのか曖昧に見えるからだそうです。

でも、問題はそこではありません。一般的な中学生の正答率は63%に過ぎなかったという事実です。つまり4割(高校生でも3割近く)は間違えたという現実です。

先に紹介した新井先生は、「受験生たちが東ロボくんに負けないためにも、将来人間の仕事がAIに奪われないためにも、AIが得意な知識の暗記で必死になるより、本来人間が得意なはずの、文章をきちんと読んで意味を理解する力を養うことが大切だ」と述べています。

新井先生は自身のスマホを出してこんな例も紹介してくれました。「この近くの、イタリア料理の店を教えてください。」すると、画面に、イタリアレストランのリストが並びます。続いて、こんな注文。「この近くの、イタリア料理以外の店を教えてください。」すると、画面には同じイタリアンの店がずらり。「それは、AIが『～以外の』の意味を理解せず、『この近く』『イタリア料理』『店』で検索しているにすぎないからです。」

「学生たちが学習から意味を見い出さず、ただ答えを解いていく姿は、まるで東ロボくんのように。人間がAI読みをしてはいけません」と述べた新井先生のことばは印象的でした。(裏面に続く)

ARで運動会の様子を

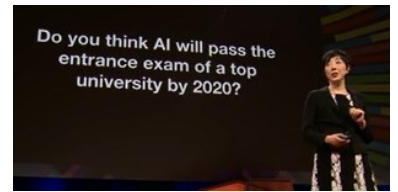
先月末の運動会の一部(1分程度です)をご紹介します。

これは、保護者会でもお知らせしたAR(Augmented Reality: 拡張現実)の技術を活用したもので、スマホ等を通して見える現実の情報に、音・画像・文字など新たな情報を重ね合わせた技術です。よく耳にするVR(Virtual Reality: 仮想現実)は、非現実の世界をいかにも現実らしく見せるもので、ARとは全く異なります。

アプリの入手方法と操作方法はHP版では省略してあります。配布された『笑顔同封』(現物)をご覧ください。

ARを活用したアプリは様々ありますが、本校では以降ご紹介したのものを使っていきます。

今後も時々、学校だよりや学年通信等でも学校の様子を映像でご覧いただけます。



▲AIは2020年までに一流大学に合格できると思うか？ 新井紀子教授

英語コラム Know what?

海外旅行をする時、必ずしなければならないのが入国審査です。一つの国家に入る時、旅行の目的や滞在日数、滞在先などが問いただされます。両手の人差し指のスキャン、顔写真の撮影などもあわせて行います。別に難しいものではありませんが、これにパスしなければ入国はできません。

具体的なやりとりは、2年生の英語の授業で練習しますが、審査官や空港によって審査の厳しさは違います。ハワイのコナ空港では、私は一切質問をされませんでした。パスポートを見て、私の顔をジロツと見て、スタンプを押されておしまい。ジョーク好きの審査官はロサンゼルス空港にいました。現金を米ドルでいくら持っているか聞かれたので、200ドル(2万円ほど)だと答えたら、「たった？そんなのでやっていけるわけ？日本人はもって金持ちだと思ってたけど、家族でのたれ死になんてないわよね？」と笑いながら言われました。カード生活だから大丈夫だ、と答えましたが、もっと気の利く言い方をすればよかったと思います。こんな時、あなたなら何と言いますか？

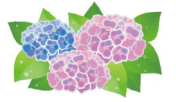
一般的には出国より入国審査の方が厳しそうに思いますが、中東のある国では出国審査の方が厳しいことで有名です。去年は私の娘も、ひとり出国を拒否されて、不法滞在の容疑で別室に連れて行かれました。私は問題ないのに、一緒に行動していた娘がなぜ不法滞在なのだ、と問いただすとしばらくたって無言で開放されました。

今回は、夏らしくハワイの紹介をしましょう。



出入国審査

生徒会の活動



生徒会では、様々な取組を進めています。これまでの歴代生徒会役員が受け継いできた取組から、現在の生徒会役員が目指す思いを実現するために今回初めて取り組むものもあり、いずれも時間をかけて活動を進めています。大変なことや、どのように思いを活動として表現していけば良いのかと悩んでしまうようなこともあったと思います。それでも、役員で力を合わせて、準備から活動当日まで一所懸命に頑張っています。生徒を代表する役員の皆さんの活動を、生徒全員で支え協力していきましょう。

今までの生徒会活動を振り返ってみて、校内活動だけではなく、ペットボトルキャップ運動や書き損じはがき回収などのボランティア活動で少しでも社会の力になることができました。今後の生徒会活動、次の代でもボランティア活動を行う予定です。その際は、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。
(会長: 矢澤 真生莉)

私はもともと人前で堂々と話すのが苦手で、生徒会も人前に出ることが少なく、裏仕事の多い書記に立候補しました。けれど、実際活動が始まると、学校説明会など、書記でも人前で話す機会が多くなりました。最初は、すごく苦手意識を持っていましたが、何回もこなしていくうちに少しずつ慣れ、苦手ではなくなりました。そこが、自分が生徒会活動で成長できたところだと思います。もちろん、完璧とまではいきませんが、授業のプレゼンテーションなど、いろいろな場面で、経験をいかすことができました。
(書記: 大塚 汐音)

生徒会役員として活動してきましたが、責任を持って行動する、周りとの協力するといったことを心がけ、成長することができました。残りの任期も、責任を持って活動していきます。今後よろしくお願いします。
(副会長: 渡辺 芽亜里)



<活動内容 (予定含む)>

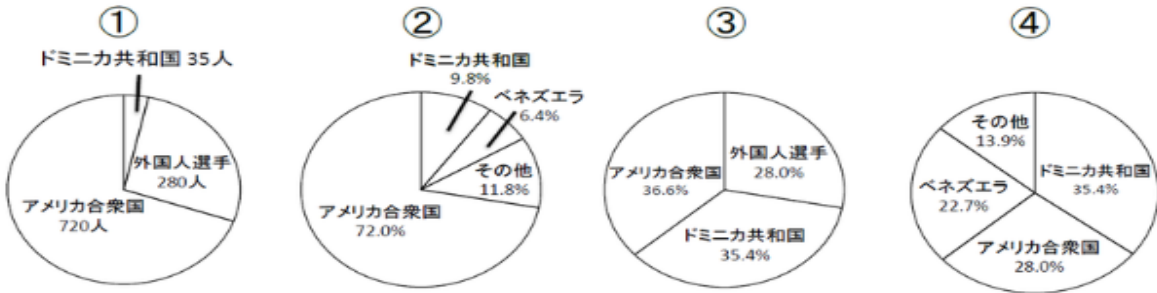
・生徒会サミット出席	12月
・書き損じはがきの回収	1月
・3年生応援メッセージ	1月
・卒業式の歓送企画・運営	3月
・新入生歓迎会 企画・運営	4月
・生徒総会	4月
・エコキャップの回収	5月
・運動会生徒会種目企画・運営	5月
・ユニセフ募金	6月
・服のチカラプロジェクト	7月～
・社会を明るくする運動	7月
・挨拶運動	毎月実施



1面の続きです。以下は【問題2】です。挑戦してみてください。生徒の皆さんはちゃんとできますか？

下記の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。



新井先生の調査によると、中学生全体の正答率は12.3%(中一:9.0% 中二:12.6% 中三:15.1%)でした。高校生の正答率も低く、27.8%にすぎません。新井先生は、「教科書が読めてない子がたくさんいる、ということです。文章を読んでいるようで、実はちゃんと読んでいない。キーワードをポンポンと拾っているだけなんです。〇〇と〇〇という言葉が出てきたら、こんなもんだらう、というような。『……のうち』とか『……の時』『……以外』といった機能語が正確に読めていない。実は、それはAIの読み方に近いんです」と述べています。まさか、皆さんは「AI読み」をしていませんか？